

研究課題 (テーマ)	高温高压水を用いた複合廃棄物の連続分離技術の開発に向けた基礎的検討		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	環境・社会基盤工学科	講師	佐伯孝
研究結果の概要			
<p>太陽光パネルを対象試料として、高温高压水を用いた連続分離技術について検討を行った。半連続式反応装置を製作した結果、高压反応場に水を供給する高压ポンプの能力が不足していたため、安定した圧力を維持することが困難であった。不安定な圧力条件下において、太陽光パネルの分離は確認 (図1) できたが、連続的な分離条件の検討に至る結果を得ることは困難であった。</p>			
			
<p>図1 回収した太陽光パネル (CIS系) (最終反応条件 350度、20MPa、1h)</p>			
今後の展開			
<p>今後として、平成30年度の特別研究費に太陽光パネルの連続分離技術の開発に向けた検討の続きとして、高压ポンプの購入費や反応装置の改良に必要な予算を申請し、連続処理に向けた検討を続けていく予定としている。</p>			